

# キリスト教学校教育同盟の中の敬和学園\*

山 田 耕 太

## 1. はじめに

今まで行ってきた敬和学園の教育理念の背景を探求する「太田俊雄の宗教教育思想」を要約すると、太田俊雄が敬和学園高校初代校長として教育実践した背後には、第一に、日本聖書神学校で宗教教育の教授として教えた宗教教育思想がある。それは、ノースセントラル大学・エヴァンジェリカル神学校留学時代（1949-1952年）に学んだアメリカの宗教教育である。すなわち、19世紀のホーレス・ブッシュネルの宗教教育思想を展開した20世紀のランドルフ・C. ミラー「キリスト教的養育」論とクリーク「無意図的教育」論などである。<sup>(1)</sup>

第二に、太田俊雄が戦前から戦中・戦後にかけて英語教師時代（1935-1949年）に学んだのは日本のキリスト教教育思想である。すなわち大正リベラリズムの自由教育の影響下にある玉川学園の小原国芳、自由学園の羽仁もと子、恵泉女学園の河井道の教育実践、とりわけ小原国芳の全人教育論である。<sup>(2)</sup>

第三に、太田俊雄が旧制中学時代（1925-1931年）に私立岡山巒で出会った英語教師・柴田俊太郎の影響である。柴田は太田にとって英語教育と人格教育を実践する理想のキリスト者教師であった。柴田俊太郎は秋吉台の「石切り場」で不良少年更生のために人間教育を実践した西蒲原郡岩室村間瀬出身の本間俊平を理想の教育者としていたが、岡山の「石切り場」の職人の子である太田俊雄を自分の後継者として「三俊」（俊平、俊太郎、俊雄）と呼んで目をかけて育てた。<sup>(3)</sup>

第四に、旧制中学時代の私立岡山巒で出会った藤井豁爾（かつじ）校長の全人教育の影響である。太田俊雄が理想とする校長像であった藤井豁爾校長は、私立中学岡山巒の校長をしながら閑谷学校の教育理念を継承しようとしていた。すなわち、藤井校長は岡山藩学校と閑谷学校の教育理念である中江藤樹と熊沢蕃山の「知行合一」「致良知」という陽明学による「心の教育」の実践者であった。<sup>(4)</sup>

第五に、太田俊雄が幼少時代から尋常小学校時代（1911-1924年）に多大な影響を受けた父傳五郎と母加津の宗教教育があった。両親は金光教の「生き神」信仰の熱心な信者であった。<sup>(5)</sup>

すなわち太田俊雄が敬和学園高校で実践した宗教教育思想は、法政大学夜間部で英語教師を目指している時にロイス・クレーマー宣教師に導かれてキリスト教に回心したが、<sup>(6)</sup>

回心以後の「真のオリーブの木」であるアメリカと日本のキリスト教教育思想と、「真のオリーブの木」が接ぎ木された回心以前の「野生のオリーブの木」として陽明学の「心の教育」と金光教の「生き神」信仰があったことを指摘した。

本稿では、敬和学園の教育理念の実践は、キリスト教学校の約 150 年の歴史とキリスト教学校教育同盟の約 100 年の歴史の中でどのように位置づけられるのかを簡単に跡付けてみたい。

## 2. 教育同盟の歴史の中でのキリスト教学校

プロテスタントのキリスト教は 1859 年にアメリカ監督派教会の J. ギンズと C.M. ウィリアムズとアメリカ・オランダ改革派の G.H.F. フルベッキが長崎に、アメリカ長老派教会の J.C. ヘボンとアメリカ・オランダ改革派の S.R. ブラウンと D.B. シモンズが神奈川に到着して始まった。<sup>(7)</sup> それ以来、157 年の歴史があるが、それは幕末・明治維新から欧化主義の風靡により自由民権運動とキリスト教が広まった時期を経て、大日本国憲法と教育勅語の制定により国粹主義へと転換し、それへの抵抗からキリスト教学校教育同盟が成立するまでの 51 年間と、それ以降の 106 年間に分かれる。キリスト教学校教育同盟の創立以後の歴史は、第二次世界大戦終結まで軍国主義が極まり破綻する 35 年間と戦争直後の日本国憲法と教育基本法の成立により民主主義とキリスト教ブームを経た後に、次第に右傾化していく現在に至るまでの 71 年間に分かれる。

現時点では、キリスト教学校教育同盟に属するのは 102 法人の学校であり、その中で最も多いのは高校であり、大きな法人では複数の高校があるが、大学のある法人は 56 法人である。<sup>(8)</sup> 全国の傾向と地域毎の傾向を見るためにブロック分けをするが、それは現在キリスト教学校教育同盟で使われているブロック分けを用いる。すなわち、東北地区（北海道、東北地方）、関東地区（関東地方に新潟、山梨、静岡が加わる）、関西地区（関西地方、新潟・山梨・静岡を除いた中部地方、山口を除いた中国地方、四国地方）、西南地区（沖縄を含む九州地方に山口が加わる）に分かれる（26 頁別表、参照）。<sup>(9)</sup>

### （1）教育同盟創立以前のキリスト教学校（1859 年～ 1910 年）

キリスト教の宣教師らは、幕末から明治維新にかけて開港した五港の外国人居留地内で活動を始め（長崎、神戸〔→大阪・川口〕、神奈川→横浜〔→築地〕、函館、新潟）、「キリシタン禁教令」が解かれた 1873 年（明治 6 年）以後、1860・70 年代に五港とその周辺地域に教会を建てて医療・教育活動を展開していった。1880 年代にはさらにそれと関連した地域にミッション・スクールは広まり、やがて 1890 年代には日本の各地の地方都市に広まっていった。

改革派系では、アメリカ・オランダ改革派が1863年に東京で明治学院（ヘボン塾）、1870年に横浜でフェリス女学院（キダー学校）、1871年に横浜共立学園（亜米利加婦人教授所）、1872年に長崎で東山学院（1897年に神学部は明治学院神学部へ吸収合併、1932年に普通部も明治学院へ吸収合併）、下関で梅光学院（1872年に長崎で開校した梅香崎女学校と1881年に山口の私塾として北部長老派教会が開校した光城女学校が1914年に合併。両校の頭文字を取って梅光と命名）を開校し、アメリカ・ドイツ改革派が一致教会と協力して、1886年に仙台で男子校の東北学院（仙台神学校）と女子校の宮城学院（宮城女学校）を開校した。

長老派系では、アメリカ北部長老派教会が1870年に東京で女子学院（A六番女学校）、1884年に大阪女学院（ウィルミナ女学校）、1885年に金沢で北陸学院（金沢女学校）、1887年に札幌で北星学園（スミス女学校）、アメリカ南部長老派教会が1889年に名古屋で金城学院（金城女学校）、1901年に高知で清和学園（高知女学会）、岡見清致が1884年に東京で頌栄女子学院（頌栄学校）を、デイスイプル派が1903年に東京で聖学院（聖学院神学校）を開校した。

1874年にはアメリカ・オランダ改革派、アメリカ北部長老派教会、スコットランド一致長老教会は日本基督一致教会を設立して協力し、1890年にはそれらにカンバーランド長老教会、アメリカ南部長老派教会、アメリカ・ドイツ改革派教会の三派が加わって、日本基督教会を形成して協力を強めていった。

メソジスト系では、1872年にメソジストの菊池九郎が尽力して弘前で東奥義塾がキリスト教学校として始まり、アメリカ・北部メソジスト監督派教会が1874年に函館で遺愛学院（日々学校）、同年に青山学院（1874年女子小学校、1878年教耕学舎、1879年美會神学校）、1879年に長崎で活水学院（活水女学校）、1881年に長崎で鎮西学院（カブリー英和学校）、1885年に福岡女学院（英和女学校）、1886年に弘前学院（来徳女学校）を開校し、アメリカ・メソジスト・プロテスタント教会が1880年に横浜英和学院（ブリテン女学校）、1887年に名古屋学院（愛知英語学校）を始めた。また、カナダ・メソジスト教会が1884年に東京で東洋英和女学院（東洋英和女学校）、1887年に静岡英和女学院（静岡女学校）、1889年に山梨英和学院（山梨英和女学校）を開校した。さらに、南部メソジスト監督派教会は1886年に広島女学院（広島女学会）、1889年に神戸で男子校の関西学院（後に西宮に移転）と女子校の聖和学院（ランバス女学校、後に関西学院へ吸収合併）を開校し、自由メソジスト教会は1905年に大阪キリスト教学院（大阪伝道館）を開校した。

1907年にはアメリカ・北部メソジスト監督派教会、カナダ・メソジスト教会、アメリカ南部メソジスト監督派教会が協力して、日本メソジスト教会を結成し、協力関係を強めた。

会衆派系では、アメリカン・ボードが1875年に神戸女学院（神戸英和学校）と同志社（同志社英学校）を、1878年に澤山保羅が大阪に梅花学園（梅花女学校）を、1886年に松山東雲学園（松山女学校）、1888年に共愛学園（前橋英和女学校）、1889年に神戸で頌栄保育学院（頌栄保姆伝習所）、1891年に松山学院（普通夜学会）を開校した。

バプテスト系では、北部バプテスト派教会（バプテスト同盟）が1884年に関東学院（横浜バプテスト神学校）、1886年に横浜で捜真学院（英和女学校）、1892年に仙台で尚綱学院（尚綱女学会）、1893年に姫路で日ノ本学園（日ノ本女学校）を開校した。

聖公会系では、アメリカ監督派教会が1874年に東京で立教学院（私塾）、1877年に立教女学院（立教女学校）を、ロー・チャーチ系のイギリス国教会宣教教会（CMS）が1879年に大阪でプール学院（永世学校）、1884年に大阪で桃山学院（三一神学校）を、ハイ・チャーチ系のイギリス国教会福音宣布会（SPG）が1888年に東京で香蘭女学校、1892年に神戸で松蔭女子学院（松蔭女学校）を開校した。これら三団体は1887年に日本聖公会を組織した。また、カナダ聖公会が1898年に名古屋で柳城学院（柳城保姆伝習所）を設置した。

ルター派系では福音ルーテル教会が1909年に熊本でルーテル学院（路帖神学校）を開校した（後に東京に移転）。

その他、フレンド派は1887年に東京で普連土学園（普連土女学校）を開校し、セブンスデー・アドベンティスト派は1898年に東京で三育学院（芝和英聖書学校）を開校した（後に千葉県に移転）。

現在、キリスト教学校教育同盟に属する102法人の中で半数以上の53法人（52%）<sup>(10)</sup>の「ミッション・スクール」が1859年のプロテスタント宣教開始からキリスト教教育同盟の成立までの約50年の間に設立されていった。第一期のキリスト教学校は「ミッション・スクール」と呼ばれるように、それぞれの宣教師を派遣した宣教団体（ミッション）が運営し、宣教師を中心にして日本人教師がそれを助ける学校がほとんどであった。

ザビエルらが来日したキリシタン時代に「南蛮寺」（1階：カトリック教会、2・3階：修道院）を建てたのちに、日本人の教職者や修道僧を育成するために一般教育を施す「コレジョ」（カレッジ、大学）と専門教育である神学教育を施す「セミナリオ」（セミナー、神学校）を建てていった。それと同様に、プロテスタントの宣教師たちも、日本語を習得すると、教会を建てながら、日本人の後継者を育成するために一般教育を施す「キリスト教学校」（しばしば「英学校」と呼ばれた）と専門教育を施す「神学校」（「神学部」）を建てていった。

「ミッション・スクール」の第一の特徴は、全人格の根底をなす宗教教育にある。すなわち、聖書を教えて礼拝を守る「聖書教育」ないしは「キリスト教教育」である。それは新島襄が「同

志社大学設立の趣旨」で「良心の充満したる丈夫(ますらお)」と述べた言葉に象徴される「良心の教育」、すなわち「心の教育」に基づいた「リベラル・アーツ教育」であったと言える。

第二に、「ミッション・スクール」が設置された当初の校名に「英和」や「英学校」という名称が多くあったことに典型的に見られるように、宣教師というネイティブ・スピーカーから直接に英語を学ぶ「英語教育」にその特徴があった。

第三に、関東地区の6校、<sup>(11)</sup> 関西地区の4校、<sup>(12)</sup> 九州地区の2校、<sup>(13)</sup> 東北地区の1校、<sup>(14)</sup> の男子校13校を除くと残りの40校弱が女子校であり、家事や裁縫などから始まり保育者の養成に至るまでの実践的な「女子教育」にその特徴があった。男子教育は五港とその周辺都市や大都市に限られていたが、女子教育は五港とその周辺から日本各地に展開する傾向が見られた。

## (2) 教育同盟の結成から敗戦まで (1910～1945年)

1889年に大日本国憲法が制定され、1890年に教育勅語が制定され、その翌年1月に勅語に最敬礼しなかった内村鑑三の不敬事件が起きた。また、これをきっかけとして東京帝国大学倫理学教授であった井上哲次郎とキリスト教の代表者との間に「教育と宗教の衝突」論争<sup>(15)</sup> が起こった。こうして、欧化主義・自由民権運動から国粹主義・国家主義へと潮流が変転していったのであった。1890年代には中心都市では明治学院や神戸女学校（神戸女学院）など生徒数が半減する学校も多く見られ、地方都市では仙台の東華学校、新潟の新潟女学校・北越学館、<sup>(16)</sup> 熊本の熊本英学校などのように閉校に追い込まれた学校や、長崎の東山学院・梅香崎女学校などのように合併せざるを得なくなった学校も併せて26校あった。<sup>(17)</sup>

1894年に不平等条約が一部改定され、外国人が一定の距離以上の旅行の禁止が廃止され、1899年から日本のどの土地でも自由に旅行し自由に住むことができる「内地雑居」が実施されることになった。政府は宣教師らの自由な移動による日本のキリスト教化を恐れて、文部省は同年に一方では、キリスト教を学校で教えることを禁じる「訓令第12号」を出し、他方では私立学校を政府の認可とする私立学校令という勅令を出した。こうして、「訓令第12号」に従わない学校を文部省の学校として認可しない方針を明らかにした。そのような中で、キリスト教学校有力校6校が文部省に対して訓令を批判する「開書」を提出したが、その後の対応は異なっていた。麻布学園（東洋英和の男子校であった麻布英和学校）は、キリスト教教育をやめて普通校になり、明治学院、青山学院、同志社はキリスト教教育を守るために、上級学校への進学と徴兵猶予という特権を捨てて、文部省の中学校令による中学校の認可を取りやめて専門学校に甘んじ、立教学院は中学校に留まりながら宗教教育は寄宿舎で行った。宣教師団体が文部省に対して申し入れた結果、文部省は外

交問題に発展することを恐れて、宗教教育の禁止条項は私立学校令に盛り込まれることはなくなった。また、本多庸一（青山学院長）や井深梶之助（明治学院長）が宣教師と連携して撤回や適用除外を申し入れ続けた結果、文部省は教育課程外で宗教を教えることを黙認し、1901年には上級学校への進学や徴兵猶予などの特典を回復させた。<sup>(18)</sup>

このような経緯の中から、キリスト教学校の結束が認識されて、1909年のプロテスタント宣教50周年記念会での決議に従い、また翌年のエディンバラ世界宣教会議で形成されたエキュメニズム（教会一致運動）の潮流の中で、1910年に「基督教教育同盟会」が結成された。教育同盟結成時に加盟したのは、明治学院、青山学院、立教学院、関東学院（横浜バプテスト神学校）、同志社、桃山学院、関西学院、福岡神学校、東山学院の9校であったが、その後他の男子校も加盟していった。

また、1913年には京浜基督教女子会を母体にしてキリスト教学校の女子校による「日本基督教女子教育会」が結成され多くの女子校が加盟し、東洋英和女学院、普連土学園、捜真学院、横浜共立学園、神戸女学院、プール学院、青山女学院、横浜英和学院、梅花学園、女子学院、女子聖学院、同志社女子などを中心にして運営されていった。しかし、1922年には女子教育会は解散し、教育同盟に合流していった。

この時代に新設されたキリスト教学校の特徴は、第一に、教育同盟結成以前の特徴的な教育の継続である。女子教育については、1910年にエディンバラ世界宣教会議で協議されたアジアに大学を設置する提案が、紆余曲折を経て日本で男子大学創立から女子大学創立へと変転し、1918年に東京女子大学が創立され、女性に対して最初のリベラル・アーツ高等教育が施されるようになった。<sup>(19)</sup> また、1920年にはルドルフ・トイスラー宣教師が聖路加病院附属高等看護婦学校（聖路加国際大学）を創立して、女性の看護教育を始めた。

一足遅れて始まった宣教師の始めた学校に関して、メソジスト系では南部メソジスト派教会が1923年に神戸に啓明学院（パルモア学院女子部）、バプテスト系では南部バプテスト派教会（バプテスト連盟）が1916年に福岡に西南学院、1922年に北九州に西南女学院、ルター派系では、福音ルーテル教会が1911年に熊本に男子校の九州学院、1926年に女子校の九州ルーテル学院（九州女学院）を開校した。

第二に、自由教育による人格教育である。それは教育勅語の画一的注入教育に対抗した、大正リベラリズムの影響を受けた教育であった。京都帝大総長であった沢柳政太郎が1917年に始めた成城学園、そこから分かれて1924年に赤井米吉が始めた明星学園と1929年に小原国芳が独立して始めた玉川学園にそれは典型的に見られる。だが、これらは教育同盟には属していない。教育同盟に属した自由教育・人格教育は、1921年に羽仁もと子が始めた自由学園に典型的に見られ、1935年に河井道が始めた恵泉女学園もその影響下にある。

第三に、実践教育・生活教育である。神を愛し、人を愛し、土を愛する三愛運動の実践から1933年にメソジストの黒澤西蔵が始めた酪農学園（北海道酪農義塾）、1934年に無教会派の鈴木彌美（すけよし）が山形県小国で始めた基督教独立学園、小原国芳の『全人教育論』の「労作」、河井道の「園芸」は、いずれも人格教育に基づいた農業の実践教育である。また、羽仁もと子の自由学園はデューイの生活学校をモデルにし、増田孝が1935年に北九州で始めた折尾真愛学園は商業の実践教育に力を入れて始まった。さらに文部省の認可から外れるが、賀川豊彦の労働学校・農民学校がある。

第四に、社会的に弱い立場の人々への教育である。1920年にライシャワー宣教師夫妻はロイス・クレマー宣教師の助力を得て聴覚障がい者のために日本聾話学校を始め、1921年に清水安三は北京で貧困な女子の自立教育から桜美林学園（崇貞学園）を始め、1922年にヴォーリズ宣教師夫妻は幼児教育からヴォーリズ学園（旧近江兄弟社学園）を始め、1940年に三井高維は東京・昭島で帰国子女教育のために啓明学園を始め、1942年に伊藤伝は横浜で水上生活者の子供の教育のために聖坂学園を始めた。

第五に、太平洋戦争中はキリスト教に対する国家の監督が極めて強まっていき、ホーリネス教団や無教会などの一部を除いて時勢に迎合し、1941年にキリスト教の各教派は長老派、改革派、メソジスト派、会衆派を中心にして日本基督教団に統合された。それと呼応して、1943年に既存の15校の神学校が二校の男子神学校（東部神学校、西部神学校）と一校の女子神学校（日本女子神学校）に合併した後に、1944年に男子神学校が一校の東京神学大学（日本基督教神学専門学校）に統合された。

### （3）第二次世界大戦後の教育同盟（1945年～現在）

戦争直後には、明治の自由民権運動や大正リベラリズムなどで開花し、軍国主義時代に抑圧されていた自由が復活し、戦争直後の1945年～50年代には賀川豊彦の全国キャラバン運動に象徴されるように、キリシタン時代と明治維新时期以後に続く第三のキリスト教ブームが到来することになった。また、福音派系の多くの教団は日本基督教団から独立していった。1945年から現在まで、戦後になってキリスト教学校になった3法人<sup>(20)</sup>を含めて31法人（30%）が成立している。その間に1956年に「キリスト教学校教育同盟」と名称を改めたが、キリスト教学校には以下のような特徴がみられる。

第一に、戦後アメリカから派遣された主として福音派系の宣教師らを中心にした学校である。すなわち、1947年にキリストの教会が茨城キリスト教学園を始め、1950年にアメリカ南部長老派教会が善通寺で四国学院を創立し、1950年に神の教会の谷口茂寿牧師は日吉女子専門学校を買い取って玉川聖学院を始め、1951年にミズリー派・ルーテル教団は飯能で聖望学園、浦和で浦和ルーテル学院を始めた。また、1966年に日本同盟基督教

団は東京・国立で東京キリスト教学園を創立した（後に千葉・印西市に移転）。

第二に、戦前の大日本憲法と教育勅語に代えて1946年に公布された平和憲法と1947年に制定された教育基本法の「平和主義」の精神に基づいて建てられた学校である。1947年に長崎馬町教会牧師の青山武雄は、原爆で廃墟となった町に平和教育に基づいた新しい人間教育の場として長崎学院を始め、同じ年に村島婦之は茅ヶ崎で白十字会林間学校を平和学園として再建した。また、アメリカ・キリスト者の戦争への謝罪と和解に基づき、人類的普遍主義に立つ価値観と教育観によるキリスト教大学として、1953年に国際基督教大学は開学した。<sup>(21)</sup> さらに、1959年に沖縄キリスト教団首里教会の仲里朝章牧師は、沖縄戦の深い後悔と反省から「沖縄を平和の島」にするために沖縄キリスト教学院を創立した。この他の戦後に発足したキリスト教学校も「平和教育」を根幹に据えている。

第三に、戦前戦後にも多少見られたが、戦後発足したキリスト教学校は、既に述べた長崎学園・平和学園・沖縄キリスト教学院もそうであるが、ミッション（宣教団）とは直接的には関係のない個人が創設した学校である。とりわけ高度成長期の1970年代以降は、日本は宣教地ではなくなり宣教師を派遣する国になり、ミッション（宣教団）も日本への宣教師の派遣を止め援助を停止し、経済的に自立しては「ミッション・スクール」ではなくなった。

そのような中で、三愛主義に基づいて聖書と農業に軸足を置いた学校として、1946年にホーリネス系の中田羽後と大橋儔は千葉市に聖書学園を開校し（後に八千代市に移転）、1951年に日本基督教団河内長野教会の牧師と信徒は清教学園を開校し、1963年に無教会系の小谷純一は三重県伊賀市に愛農学園を開校し、1986年に無教会の伝道者高橋三郎は鳥根県江津市にキリスト教愛真高校を開校した。

ビジネス系では1951年に金子正は横浜千歳女子商業学校と神奈川女子商業学校を統合しキリスト教学校として再出発させ、工業系では1962年に日本基督教団福島伊達教会の支援の下で野田新弼は工業科を軸にして聖光学院を発足させた。

医療・福祉系では、戦後に大磯で混血の子供たちのためにエリザベス・サンダース・ホームを創設した澤田美喜は1953年に聖ステパノ学園を始め、1966年に長谷川保は浜松で看護師教育のために聖隷学園を創立し、バット記念ホームを前身として1965年にカリビットは福祉教育を行う和泉短大（旧クラーク学園）を創設した。

これらのキリスト教の実践教育とは異なり、リベラル・アーツ教育の方により軸足を置いた学校もある。1947年に湯浅正次は新島襄の精神を継承するために新島襄の故郷の安中に新島学園を開校し、同じ年に鎌倉雪ノ下教会松尾造酒蔵牧師と武部啓らは横須賀海軍基地跡地に建設された青山学院分校工学部が関東学院に移管した跡地に横須賀学院を発足させた。また、1963年に聖公会主教の八代斌助は寄宿舎による全人教育による八代学院

を創設した。

### 3. 結びに：キリスト教学校教育同盟における敬和学園大学

以上のようにキリスト教学校教育同盟加盟校の発足の経緯を鳥瞰図のように見渡してきて次の点が明らかにされる。敬和学園高校は戦後の高度経済成長期の1968年に発足したが、それはキリスト教愛真高校と共にキリスト教学校教育同盟で最後に発足した小規模な学校で、ミッションの経済的支援から自立した時期に開校した学校である。

だが、敬和学園の発足までには新潟のキリスト教学校の長い歴史があった。<sup>(22)</sup> その教育理念の根底には明治以来の「聖書教育」による「心の教育」と「英語教育」などによる「リベラル・アーツ教育」があり、大正リベラリズムの「自由教育」による寮教育と労作教育による「人格教育」の影響を受け、戦後の「平和教育」が加わったものである。

敬和学園大学はこのような敬和学園高校の「心の教育」を「キリスト教学」「チャペル・アッセンブリ・アワー」として、また「労作教育」を「ボランティア教育」として受け継ぎ、新たに「寮教育」を加え、人権・共生・平和教育にアクセントを置いたりリベラル・アーツ教育を展開している。また、次のミッション・ステートメントに基づいて、「キリスト教主義」「国際主義」「地域主義」による教育を推し進めている。

「敬和学園大学は、キリスト教主義に基づく自由かつ敬虔な学風の中で、リベラル・アーツ教育を行い、グローバルな視点で考え、対話とコミュニケーションとボランティア精神を重んじ、隣人に仕える国際的教養人を育成します。」

さらに、高等教育を受けた人間像によって、次のカリキュラム・ポリシーに基づいて、教育課程においてミッション・ステートメントの実現を目指している。

- (1) 分析的・批判的に考えて、明瞭かつ効果的に書くことができる（演習教育の理念）。
- (2) 少なくとも一つの外国語を操ることができる（外国語教育の理念）。
- (3) 情報リテラシーを身につけ、社会と対話する情報の受発信を行うことができる（情報教育の理念）。
- (4) 人権と人間の尊厳の原理を尊重し、異なる文化や価値観について複眼的に見ることができる（専門教育の理念）。
- (5) 倫理的基準を持ち、他者に奉仕することができる（キリスト教教育の理念）。

さらに、2009年以後は、中長期計画のビジョン「隣人に仕えるための地域貢献」として「少子高齢化と地域格差の進む時代に、持続可能な社会の担い手を育成する」を掲げ、現在はその実現に力を入れている。こうして、グローバルな視点をもって、地域社会で活躍する良心的な人材の育成に励んでいる。

## 註

- \* 本稿は2014年2月に開催された第7回太田俊雄研究会で発表したものである。だが、その時点でキリスト教学校教育同盟は97法人であったのが、2015年6月に102法人となったので、2016年1月にそれに関した点を若干改訂した。
- (1) 山田耕太「太田俊雄の宗教教育思想(1)」『敬和学園大学人文社会科学研究所年報』第7号(2009年)、115-126頁＝太田俊雄研究会『太田俊雄研究会集録』2014年、54-64頁。
  - (2) 山田耕太「太田俊雄の宗教教育思想(2)」『敬和学園大学人文社会科学研究所年報』第9号(2011年)、1-10頁＝『太田俊雄研究会集録』、65-72頁。
  - (3) 山田耕太「太田俊雄の宗教教育思想(3)」『敬和学園大学人文社会科学研究所年報』第10号(2012年)、61-69頁＝『太田俊雄研究会集録』、73-79頁。
  - (4) 山田耕太「太田俊雄の宗教教育思想(4)」『敬和学園大学人文社会科学研究所年報』第11号(2013年)、1-9頁＝『太田俊雄研究会集録』、80-87頁。
  - (5) 山田耕太「太田俊雄の宗教教育思想(5)」『敬和学園大学人文社会科学研究所年報』第12号(2014年)、1-9頁＝『太田俊雄研究会集録』、88-95頁。
  - (6) 山田耕太「太田俊雄とロイス・クレーマー」第9回太田俊雄研究会(2016年2月)で発表、近刊予定。
  - (7) 1859年にウィリアムズ、フルベッキ、ヘボン、ブラウンらの本土へのキリスト教宣教以前に、1846年にJ.ベッテルハイムが沖縄宣教を試みた。
  - (8) 百年史以後加わった盛岡大学を入れて56法人。自由学園最高学部は短大と分類されている。
  - (9) 以下は、キリスト教学校教育同盟百年史編纂委員会編『キリスト教学校教育同盟百年史年表』キリスト教学校教育同盟、2010年；キリスト教学校教育同盟創立100周年記念事業広報委員会編『加盟校の歩み創立の礎』キリスト教学校教育同盟、2011年、による。
  - (10) ただし、1908年に創設された山形学院(裁縫伝習所)は、1966年からキリスト教学校として再出発したので、ここでは合計から外し、戦後のキリスト教学校として数える。  
尚、本稿ではキリスト教への回心を目的にした戦前の「ミッション・スクール」を指す「キリスト教学校」とキリスト教を教育理念にした戦後の「キリスト教主義学校」を分けず、最近の慣例に従って「キリスト教学校」という名称を一貫して用いる。
  - (11) 明治学院と立教学院は、築地・明石町の外国人居留地から、関東学院と青山学院はそれぞれ横浜と築地の両方の外国人居留地から始まり、三育学院は東京・芝で、聖学院は東京・駒込で開校した。
  - (12) 同志社は京都で、桃山学院は大阪・川口外国人居留地で始まり、名古屋学院は名古屋で開校し、関西学院は当初は神戸で開校し後に西宮に移転した。
  - (13) 鎮西学院は長崎で開校し諫早に移転し、ルーテル学院は熊本で開校し東京に移転した。
  - (14) 東北学院は仙台に立地。
  - (15) 関卓作編『井上博士と基督教徒：一名「教育と宗教の衝突」顛末及評論』正統編(哲学書院、1893年)、みすず書房、1988年。
  - (16) 新潟女学校・北越学館に関しては、新潟プロテスタント史研究会編『新潟女学校と北越学館：明治教育秘史』新潟日報事業社、1990年；本井康博『近代新潟におけるキリスト教教育：新潟女学校と北越学館』思文閣出版、2007年、参照。
  - (17) 1863年から1890年に開校したキリスト教学校67校のうち女子校を中心にした41校が現在まで継続している。東山学院・梅香崎女学校と長崎と佐賀のキリスト教については、山田耕太「フルベッキと佐賀」『創立120周年を記念して』日本キリスト教団佐賀教会、2000年、61-76頁；山田耕太「ヘンリー・スタウトと佐賀(1)：瀬川浅の生涯と佐賀」『ぶどうの木』第39号(佐賀教会創立125周年記念特集号)、2005年、21-37頁；山田耕太「ヘンリー・スタウトと佐賀(2)：川崎敏雄の生涯と佐賀」『ぶどうの木』第40号(日本キリスト教団佐賀教会)、2006年、14-31頁；山田耕太「スタウトの後継者たち：西堀端の宣教師館に住んだ宣教師たち」『ぶどうの木』第41号(佐賀教会創

立 130 周年記念号) 2010 年、56-64 頁、参照。

- (18) 高瀬幸恵「訓令第 12 号と教育同盟の結成」『キリスト教学校教育同盟百年史紀要』(キリスト教学校教育同盟百年史編纂委員会編)、第 2 号 (2004 年)、71-90 頁、参照。
- (19) 大森秀子「基督教女子教育会とキリスト教連合女子大学運動」『キリスト教学校教育同盟百年史』創刊号 (2003 年)、1-34 頁；大西晴樹「基督教大学設立と教育同盟」『キリスト教学校教育同盟百年史紀要』創刊号 (2003 年)、35-70 頁、参照。

戦前の男子に対するリベラル・アーツ高等教育は、1907 年に創立された立教大学 (専門学校令、1922 年に大学令に昇格)、1912 年に創立された同志社大学 (専門学校令、1920 年に大学令に昇格)、1932 年に創立された関西学院大学で行われた。その始まりは、同志社大学の前身である同志社英学校ばかりでなく、札幌農学校の英語教育にも見られる。

- (20) 山形学院 (注 10)、岐阜済美学院 (岐阜裁縫女学校) は 1918 年に設置されたが、キリスト教学校となったのは 1945 年、清水国際学園は 1934 年に開校したがキリスト教主義を教育理念に据えたのは、1949 年からである。

1940 年代に創立された法人の中で、啓明学園 (1940) 聖坂学園 (1942) 東京神学大学 (1943) は、それぞれ戦前・戦中に開設された。

戦後に新たに設立された 28 法人の中で、1945 年から高度成長期の 1960 年代まで 27 法人、1970 年代から 80 年代まで 1 法人が設立された。そのうち、広島三育学院、沖縄三育学院は三育学院と実質的には同じであり、名古屋学院大学は実質的には名古屋学院と同じであり、実質的には 25 法人が創立されたことになる。

- (21) 武田清子『未来をきり拓く大学：国際基督教大学 50 年の理念と軌跡』国際基督教大学、2000 年。
- (22) 山田耕太「新潟におけるキリスト学校の芽生え、消滅、復活」『大学時報』(日本私立大学連盟)、2015 年 3 月号、200-205 頁。

キリスト教学校教育同盟加盟学校 創立年度一覧 (年代別・地区別)

山田耕太 作成

| 年代    | 北海道・東北地区                 | 関東地区(新潟・山梨・静岡を含む)   | 関西地区(中部・中国・四国を含む)   | 西南地区(九州・山口)                                 | 計                 |
|-------|--------------------------|---|---|---|-------------------|
| 1860  | 0                        | 1 明治学院  | 0   | 0   | 1                 |
| 1870  | 2 東奥義塾 遺愛学院              | 6 フェリス女子学院 横浜共立学園<br>立教学院 青山学院 立教女学院 (短大)   | 4 神戸女学院 同志社 (+同志社女子大)<br>梅花学園 プール学院   | 2 梅光学院 活水学院                                 | 14                |
| 1880  | 4 東北学院 弘前学院<br>宮城学院 北星学園 | 10 横浜英和学院 関東学院 東洋英和女学院<br>燦栄女子学院 捜真学院 普連土学園 静岡英<br>和女学院 共愛学園(前橋国際大) 香蘭女学校<br>山梨英和学院           | 11 大阪NCA 大阪女学院 桃山学院 北陸学院<br>山山東雲学園 広島女学院 名古屋学院<br>金城学院 関西学院 燦栄保育学院(短大)<br>夙川学院 (短大) | 2 鎮西学院 (長崎ウエス<br>レヤン大) 福岡女学院<br>(+福岡女学院看護大) | 27<br>53<br>(52%) |
| 1890  | 1 尚綱学院                   | 1 三育学院  | 4 松山学院 松蔭女子学院 日ノ本学園 (短大)<br>柳城学院(短大)  | 0   | 6                 |
| 1900  | 1 【山形学院】                 | 2 聖学院 ルーテル学院  | 2 清和学園 大阪キリスト教学院(短大)  | 0   | 5                 |
| 1910  | 0                        | 1 東京女子大学  | 1【岐阜済美学院(中部学院大)】  | 2 九州学院 西南学院                                 | 4                 |
| 1920  | 1 石山学園                   | 5 日本講話学校 自由学園 (短大) 桜美林学園<br>恵泉女学園 聖路加国際大学   | 2 ヴォーリズ学園 (旧近江兄弟社学園)<br>啓明学院  | 2 西南女学院 九州ルー<br>テル学院                        | 10<br>18<br>(18%) |
| 1930  | 2 酪農学園 基督教独立<br>学園       | 1 【清水国際学園】  | 0   | 1 折尾愛真学園(短大)                                | 4                 |
| 1940  | 0                        | 9 啓明学園 (1940) 聖坂学園 (1942) 東京神学<br>大学 (1944) / 聖書学園 平和学園 新島学園<br>(短大) 横浜学院 茨城キリスト教学園 横須賀<br>学院 | 0   | 1 長崎学院 (長崎外国語<br>大)                         | 10                |
| 1950  | 1 盛岡大学                   | 6 玉川聖学院 聖望学園 浦和ルーテル学院 聖ス<br>テパノ学園 国際基督教大学 装苑学園  | 3 四国学院 清教学園 広島三育学院  | 2 沖縄キリスト教学院<br>沖縄三育学院                       | 12<br>31<br>(30%) |
| 1960  | 1 聖光学院                   | 4 和泉短大 (旧クラーク学園) 東京キリスト教<br>園 聖隷学園(聖隷クリストファー大) 敬和学園   | 3 八代学院(神戸外国語大) 愛農学園<br>名古屋学院大学  | 0   | 8                 |
| 1970  | 0                        | 0   | 0   | 0   | 0                 |
| 1980  | 0                        | 0   | 1 キリスト教愛真高校   | 0   | 1                 |
| 1990- | 0                        | 0   | 0   | 0   | 0                 |
| 計     | 13(7大学)                  | 46(22大学)  | 31(17大学)  | 12(10大学)                                    | 102(56大学)         |

資料：キリスト教学校教育同盟百年史編纂委員会編『キリスト教学校教育同盟百年史年表』、2010年 (ゴチック太字 大学有、【 】戦後にキリスト教学校化)